

## 御 礼



この夏、紛争で家族を失ったイスラエルとパレスチナの高校生を小金井市に招待し、様々な交流事業を行うとともに、世界の平和を訴えることを目的に「中東和平プロジェクト in 小金井」を、7月28日から8月2日まで実施し、お陰様をもちまして無事終わることができました。これも皆様方のご協力に支えられてのものであり、心から厚くお礼申し上げます。

中東和平プロジェクトは、平成15年に綾部市の四方八洲男市長の肝入りで、実施されたのを最初に、自治体主導で中東に対する平和の思いを込め、実施しているものであり、今年度は小金井市が、自治体としてその中東の和平に対する思いを引き継ぐこととなりました。

今回のプロジェクトにおいて、両地域の高校生が2人1組となって一般家庭でのホームステイ、日本の高校生や市民との交流事業、両地域の大使館・代表部の表敬訪問、また、美術館や博物館等の見学や体験学習を通じ、両国の高校生が打ち解けるのに長い時間は不用でした。長い間の紛争で多くの悲劇が繰り返されており、これがすぐ中東和平につながるというほど簡単ではありません。しかし、彼らは、はるか遠く離れた小金井市民が中東の和平を願い、行動していることに感動しており、また、今回のプロジェクトを通じ、この短い期間の中で、彼らが共に成長し、共通の言葉で話し、真の友情を築けたことは、今回のプロジェクトの最大の成果であり、中東和平に一粒の種をまくことができたと確信しております。

このプロジェクトは地方自治体主導で開始した後、国もその成果を大きく評価し、外務省が紹介する「イスラエル・パレスチナ間の信頼醸成に向けた日本の支援」の1つとして大きく紹介されていましたが、去る9月26日（金）未明（現地時間の25日（木））、ニューヨークの国連本部において麻生首相が行った一般討論演説の中で、小金井市を『東京郊外の小さな街』として、今回のプロジェクトについて「日本の市民社会が地道に続けてくれている、和解促進の努力」であると詳しく紹介しています。

なお、今回のプロジェクトは、イスラエルとパレスチナの高校生たちにとって、大変貴重な経験となり、今後も彼らが友情を育み、それが中東和平につながっていくことと信じるとともに、我々、小金井市民も、戦争の悲惨さ、そして平和の尊さを次世代にきちんと伝えていかなければならないとの思いを確かにしました。

最後に、このプロジェクトの実行委員や賛同者の皆様方のご支援、ご協力に対しまして、心から感謝申し上げます。

平成20年12月

中東和平プロジェクト in 小金井実行委員長

小金井市長

箱 葉 孝 彦